

■がん領域 ■免疫疾患領域 ■神経疾患領域 ■血液疾患領域 ■眼科領域 ■その他の領域

開発パイプライン[本表](2026 年 6 月 30 日現在)

開発コード 導入元		一般名 販売名	予定適応症 #適応拡大 (併用薬)	国/地域	予定申請時期	作用機序 モダリティ(剤形)	共同開発
申請済							
	RG7446 ロシュ	アテゾリズマブ テセントリク	分子的残存病変(MRD)陽性の膀胱がんにおける術後補助療法 #	日本	2026 年 1 月	改変型抗 PD-L1 モノクローナル抗体 抗体(静注)	ロシュ
			局所進行の食道がんにおける根治的化学放射線療法後の維持療法 #	日本	2026 年 6 月		ロシュ
	RG6171 ロシュ	ギレデストラント酒石酸塩 －	乳がん(アジュバント)	日本	2026 年 5 月	選択的エストロゲン受容体分解薬 低分子(経口)	ロシュ
			手術不能または再発乳がん	日本	2026 年 5 月		ロシュ
	RG7159 ロシュ	オビヌツズマブ ガザイバ	特発性ネフローゼ症候群 #	日本	2026 年 5 月	ヒト化抗 CD20 モノクローナル抗体 抗体(静注)	日本新薬
	－ Traverse Therapeutics	スパルセンタン －	IgA 腎症	日本	2026 年 6 月	エンドセリン/アンジオテンシンⅡ受容体二重拮抗薬 低分子(経口)	－
	SA237/RG6168 自社創製	サトラリズマブ エンスプリング	甲状腺眼症(TED) #	米国	2026 年 6 月	pH 依存的結合性ヒト化抗 IL-6 レセプターモノクローナル抗体 抗体(皮下注)	ロシュ
	RG6321 ロシュ	ラニビズマブ (Port Delivery Platform with ranibizumab) －	中心窩下脈絡膜新生血管を伴う加齢黄斑変性	日本	2026 年 6 月	ヒト化抗 VEGF モノクローナル抗体 Fab 断片 抗体(注射剤(インプラント経由))	－
			糖尿病黄斑浮腫	日本	2026 年 6 月		－
第Ⅲ相							
	AF802/RG7853 自社創製	アレクチニブ塩酸塩 アレセンサ	非小細胞肺がん(ステージⅢ)化学放射線療法後の維持療法 #	グローバル	－	ALK 阻害剤 低分子(経口)	ロシュ
	RG7446 ロシュ	アテゾリズマブ テセントリク	肝細胞がん(intermediate ステージ) # (アバスチン) #	日本	2027 年	改変型抗 PD-L1 モノクローナル抗体 抗体(静注)	ロシュ
	RG7828 ロシュ	モスネツズマブ ルンスミオ	濾胞性リンパ腫[二次治療] # (レナリドミド)	日本	2026 年	抗 CD20/CD3 バイスペシフィック抗体 抗体(静注)	ロシュ
			未治療の濾胞性リンパ腫 #	日本	2029 年以降		ロシュ
	RG6026 ロシュ	グローフィタマブ －	初発大細胞型 B 細胞リンパ腫 (ポライビー)	日本	2028 年	抗 CD20/CD3 バイスペシフィック抗体 抗体(静注)	ロシュ

■がん領域 ■免疫疾患領域 ■神経疾患領域 ■血液疾患領域 ■眼科領域 ■その他の領域

開発コード 導入元	一般名 販売名	予定適応症 #適応拡大 (併用薬)	国/地域	予定申請時期	作用機序 モダリティ(剤形)	共同開発
RG6330 ロシュ	divarasib ー	非小細胞肺がん[二次治療]	日本	2026 年	KRAS G12C 阻害剤 低分子(経口)	ロシュ
		非小細胞肺がん[一次治療]	日本	2029 年以降		ロシュ
RG6114 ロシュ	inavolisib ー	PIK3CA 遺伝子変異陽性・HER2 陽性乳がん [一次治療] (フェスゴ)	日本	2028 年	PI3K α 阻害剤 低分子(経口)	ロシュ
		PIK3CA 遺伝子変異陽性乳がん(内分泌療法感受性)[一次治療] (CDK4/6 阻害剤+レトロゾール)	日本	2029 年以降		ロシュ
RG7159 ロシュ	オビヌツズマブ ガザイバ	ループス腎炎 #	日本	2026 年	ヒト化抗 CD20 モノクローナル抗体 抗体(静注)	日本新薬
		腎症を伴わない全身性エリテマトーデス #	日本	2027 年		日本新薬
RG6299/ASO factor B ロシュ	セーファキセルセンナトリ ウム ー	IgA 腎症	日本	2029 年以降	補体 B 因子 mRNA に対するアンチセンスオリゴヌクレオ チド 核酸(皮下注)	ロシュ
RG6631 ロシュ	afimkibart ー	潰瘍性大腸炎	日本	2027 年	抗 TL1A 抗体 抗体(ー)	ロシュ
		クローン病	日本	2029 年以降		ロシュ
SA237/RG6168 自社創製	サトラリズマブ エンスプリング	ミエリンオリゴデンドロサイト糖タンパク質抗 体関連疾患(MOGAD) #	グローバル	2026 年	pH 依存的結合性ヒト化抗 IL-6 レセプターモノクロー ナル抗体 抗体(皮下注)	ロシュ
		自己免疫介在性脳炎(AIE) #	グローバル	2027 年		ロシュ
RG6102 ロシュ	trontinemab ー	アルツハイマー病	日本	2029 年以降	抗アミロイドベータ/TfR1 融合蛋白 抗体(静注)	ロシュ
RG6356/SRP-9001 ロシュ	デランジストロゲン モキセ パルボペク エレビジス	デュシェンヌ型筋ジストロフィー(DMD) (歩行不能) #	日本	2029 年以降	マイクロジストロフィン遺伝子治療 遺伝子治療(静注)	Sarepta*
SKY59/RG6107 自社創製	クロバリマブ ピアスカイ	非典型溶血性尿毒症症候群(aHUS) #	グローバル	2026 年	抗補体 C5 リサイクリング抗体 抗体(皮下注)	ロシュ
ACE910/RG6013 自社創製	エミシズマブ ヘムライブラ	Ⅲ型フォン・ヴィレブランド病 #	グローバル	2027 年	抗血液凝固第 IXa/X 因子ヒト化二重特異性モノクロー ナル抗体 抗体(皮下注)	ロシュ
NXT007/RG6512 自社創製	zemocimig ー	血友病 A	グローバル	2028 年	抗血液凝固第 IXa/X 因子バイスペシフィック抗体 抗体(皮下注)	ロシュ

■がん領域 ■免疫疾患領域 ■神経疾患領域 ■血液疾患領域 ■眼科領域 ■その他の領域

開発コード 導入元	一般名 販売名	予定適応症 #適応拡大 (併用薬)	国/地域	予定申請時期	作用機序 モダリティ(剤形)	共同開発
SA237/RG6168 自社創製	サトラリズマブ エンスプリング	甲状腺眼症(TED) #	グローバル (米国を除く)	2026 年	pH 依存的結合性ヒト化抗 IL-6 レセプターモノクローナル抗体 抗体(皮下注)	ロシュ
RG6179 ロシュ	バミキバルト —	非感染性ぶどう膜炎に伴う黄斑浮腫 (UME)	日本	2026 年	抗 IL-6 モノクローナル抗体 抗体(硝子体注射)	ロシュ
RG7716 ロシュ	ファリシマブ パビースモ	非増殖糖尿病網膜症(NPDR) #	日本	2028 年	抗 VEGF/抗 Ang-2 バイスベシフィック抗体 抗体(硝子体注射)	—
RG6615 ロシュ	zilebesiran —	高血圧症	日本	2029 年以降	アンジオテンシンノーゲンに対する RNAi 治療薬 RNAi(皮下注)	アルナイラム
RG6640 ロシュ	enicepatide —	肥満症	日本	2029 年以降	持続性 GLP-1/GIP 受容体作動薬 ペプチド(皮下注)	ロシュ
第Ⅱ相						
RG6026 ロシュ	グローフィタマブ —	再発または難治性のびまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫	日本	2026 年	抗 CD20/CD3 バイスベシフィック抗体 抗体(静注)	—
		再発または難治性のマントル細胞リンパ腫	日本	2028 年		—
DONQ52 自社創製	— —	セリアック病	グローバル	2029 年以降	抗 HLA-DQ2.5/グルテンペプチドマルチスベシフィック抗体 抗体(皮下注)	—
RG6042 ロシュ	トミネルセン —	ハンチントン病**	日本	—	H7T mRNA に対するアンチセンスオリゴヌクレオチド 核酸(静注)	ロシュ
GYM329/RG6237 自社創製	emugrobart —	肥満症	グローバル	2029 年以降	抗潜在型ミオスタチンスイーピング抗体 抗体(皮下注)	ロシュ
第Ⅰ/Ⅱ相						
RG6114 ロシュ	inavolisib —	PIK3CA 遺伝子変異陽性乳がん(内分泌療 法抵抗性)(パルボシクリブ+フルベストラ ント)	日本	2027 年	PI3K α 阻害剤 低分子(経口)	ロシュ
第Ⅰ相						
GC33 自社創製	codrituzumab —	肝細胞がん	グローバル	—	抗グリピカン 3 ヒト化モノクローナル抗体 抗体(静注)	—
ALPS12 自社創製	clesitamig —	固形がん	グローバル	—	抗 DLL3/CD3/CD137 トリスベシフィック抗体 抗体(静注)	—
ROSE12 自社創製	— —	固形がん	グローバル	—	抗 CTLA-4 スイッチ抗体 抗体(静注)	—
MINT91 自社創製	— —	固形がん	グローバル	—	— 低分子(経口)	—

■ がん領域
■ 免疫疾患領域
■ 神経疾患領域
■ 血液疾患領域
■ 眼科領域
■ その他の領域

開発コード 導入元	一般名 販売名	予定適応症 #適応拡大 (併用薬)	国/地域	予定申請時期	作用機序 モダリティ(剤形)	共同開発
■ AUBE00 自社創製	— —	固形がん	グローバル	—	pan-KRAS 阻害剤 中分子(経口)	—
■ RG7421 ロシュ	コピメチニブフマル酸塩 —	固形がん	日本	—	MEK 阻害剤 低分子(経口)	—
■ RG6160 ロシュ	cevostamab —	再発または難治性の多発性骨髄腫	日本	—	抗 FcRH5/CD3 パイスペシフィック抗体 抗体(静注)	—
■ RAY121 自社創製	— —	自己免疫疾患	グローバル	—	抗補体 C1s リサイクリング抗体 抗体(皮下注)	—
■ RG7935 ロシュ	prasinezumab —	パーキンソン病	日本	—	抗 α -シヌクレインモノクローナル抗体 抗体(静注)	—
■ REVN24 自社創製	— —	心臓手術後合併症	グローバル	—	— 低分子(静注)	—
■ RAY121 自社創製	— —	—	グローバル	—	抗補体 C1s リサイクリング抗体 抗体(—)	—
開発中止						
■ RG6171 ロシュ	ギレデストラント酒石酸塩 —	乳がん[一次治療] (パルボシクリブ)	日本	第Ⅲ相	選択的エストロゲン受容体分解薬 低分子(経口)	ロシュ

各相の臨床試験は、原則として投与の開始をもってパイプライン入りとしています。予定適応症に記載の治療ラインおよび対象セグメントは、現時点で実施中の臨床試験に基づくものであり、最終的な添付文書上の表現を示すものではありません。* Sarepta 社が日本を含むグローバルでの臨床試験を主導 ** 2026 年 12 月期第 2 四半期決算発表にてパイプライン削除を公表

前回公表(2026 年 3 月 31 日)からの変更点

がん領域

- ・AF802/RG7853 申請済 (ALK 融合遺伝子陽性の進行・再発の固形がん) → 承認
- ・RG435 申請済 (神経線維腫症 2 型) → 承認
- ・RG7446 申請済 (局所進行の食道がんにおける根治的化学放射線療法後の維持療法)
- ・RG6171 第Ⅲ相 (乳がん(アジュバント)) → 申請済
- ・RG6171 第Ⅲ相 (手術不能または再発乳がん) → 申請済
- ・RG6171 第Ⅲ相 (乳がん[一次治療](パルボシクリブとの併用)) → 開発中止

免疫領域

- ・RG7159 第Ⅲ相 (特発性ネフローゼ症候群) → 申請済
- ・スパルセンタン 第Ⅲ相 (IgA 腎症) → 申請済
- ・DONQ52 第Ⅰ相 (セリアック病) → 第Ⅱ相

血液領域

- ・NXT007/RG6512 第Ⅰ/Ⅱ相 (血友病 A) → 第Ⅲ相

眼科領域

- ・SA237/RG6168 第Ⅲ相 (甲状腺眼症)(米国) → 申請済
- ・RG6321 第Ⅰ/Ⅱ相 (中心窩下脈絡膜新生血管を伴う加齢黄斑変性) → 申請済
- ・RG6321 第Ⅰ/Ⅱ相 (糖尿病黄斑浮腫) → 申請済

その他の領域

- ・RG6640 第Ⅲ相 (肥満症) 開発開始

開発パイプライン[別表](ロシュ以外の第三者に導出した主な自社創製品)(2026 年 6 月 30 日現在)

開発コード 導出先/自社	一般名 販売名	予定適応症 (併用薬)	ステージ 国/地域	作用機序 モダリティ(剤形)	導出先 (権利範囲)
VS-6766/CKI27	avutometinib AVMAPKI	再発の低悪性度漿液性卵巣がん (defactinib)	第Ⅲ相 グローバル	RAF/MEK clamp(遮断) 低分子(経口)	Verastem Oncology (全世界の製造・開発・販売の独占的实施権)
		転移性膵管腺がん [一次治療] (defactinib+化学療法)	第Ⅰ/Ⅱ相 米国		
-/CIM331	ネモリズムブ NEMLUVIO	原因不明の慢性そう痒症(CPUO)	第Ⅱ相 海外	抗 IL-31 レセプターA ヒト化モノ クローナル抗体 抗体(皮下注射)	Galderma (日本を除く全世界の開発・販売の独占的实施権)
		全身性強皮症(SSc)	第Ⅱ相 海外		
LY3502970/OWL833	オルホルグリブロン カルシウム Foundayo	2 型糖尿病	第Ⅲ相 グローバル 申請済 欧州	非ペプチド型 経口 GLP-1 受容体作動薬 低分子(経口)	Eli Lilly and Company (全世界の開発・販売権)
		肥満症	第Ⅲ相 グローバル 申請済 欧州・日本		

開発コード 導出先/自社	一般名 販売名	予定適応症 (併用薬)	ステージ 国/地域	作用機序 モダリティ(剤形)	導出先 (権利範囲)
		睡眠時無呼吸症候群	第Ⅲ相 グローバル		
		高血圧症	第Ⅲ相 グローバル		
		変形性関節症	第Ⅲ相 グローバル		
		腹圧性尿失禁	第Ⅲ相 グローバル		
		主要心血管イベント(MACE)の発生に 対するオルホルグリブロンの効果の評価*	第Ⅲ相 グローバル		
		末梢動脈疾患	第Ⅲ相 グローバル		
AP306/EOS789	— —	高リン血症	第Ⅱb相 中国/米国	経ロリン酸輸送体阻害剤 低分子(経口)	Alebund Pharmaceuticals (全世界の製造・開発・販売の独占的実施権)

予定適応症に記載の治療ラインおよび対象セグメントは、現時点で実施中の臨床試験に基づくものであり、最終的な添付文書上の表現を示すものではありません。

*アテローム性動脈硬化性心血管疾患および/または慢性腎臓病患者

ロシュ以外の第三者に導出した主な自社創製品の研究開発活動の状況(2026 年 1 月 1 日から 2026 年 6 月 30 日まで)

- ・非ペプチド型経口 GLP-1 受容体作動薬「LY3502970/OWL833」(一般名:オルホルグリブロンカルシウム)は、2026 年 1Q に、末梢動脈疾患を対象に第Ⅲ相国際共同治験を開始しました。また、2 型糖尿病および肥満症を対象として同年 1Q に欧州医薬品庁(EMA)に承認申請を行い、同年 2Q に肥満症を有する成人、および過体重で体重に関連する併存疾患を有する成人を対象とする承認を米国で取得しました。
- ・経ロリン酸輸送体阻害剤「AP306/EOS789」は、2026 年 2Q に中国および米国において高リン血症を対象に第Ⅱb相国際共同治験を開始しました。
- ・抗 IL-31 レセプターA ヒト化モノクローナル抗体「CIM331」(海外販売名:NEMLUVIO)は、2026 年 2Q に、全身性強皮症を対象に第Ⅱ相国際共同治験を開始しました。

未承認薬・適応外薬の開発要請への対応状況(2026 年 6 月 30 日現在)

※2024 年 2 月 1 日付をもってチェブラファーム株式会社に製造販売承認継済み

開発要請	製品	適応症など	開発状況
第4回開発要請分	ゼローダ※	神経内分泌腫瘍	開発要請に対する企業見解につき検討会議での評価待ち
	アバスチン	放射線脳壊死に起因する脳浮腫	開発要請に対する企業見解につき検討会議での評価待ち

	ミルセラ	生後 3 か月以上の小児における腎性貧血	開発要請に対する企業見解につき検討会議での評価待ち
--	------	----------------------	---------------------------

【主要な臨床試験】

プロジェクト	予定適応症	試験デザイン	試験名	ステージ	臨床試験情報
がん領域					
AF802/RG7853 「アレセンサ」	非小細胞肺がん(ステージⅢ)化学放射線療法後の維持療法	ALK 融合遺伝子陽性: アレセンサ vs. デュルバルマブ	HORIZON01	第Ⅲ相	NCT05170204
RG7446 「テセントリク」	肝細胞がん(intermediate ステージ)	テセントリク+アバステン+肝動脈化学塞栓療法 vs. 肝動脈化学塞栓療法	TALENTACE	第Ⅲ相	NCT04712643
RG7828 「ルンスミオ」	濾胞性リンパ腫[二次治療]	ルンスミオ+レナリドミド vs. リツキサン+レナリドミド	CELESTIMO	第Ⅲ相	NCT04712097
	未治療の濾胞性リンパ腫	ルンスミオ+レナリドミド vs. リツキサン+化学療法	—	国内第Ⅲ相	JRCT2011240017
RG6026 (グローフィタマブ)	初発大細胞型 B 細胞リンパ腫	RG6026 + ボライビー + リツキサン+化学療法 vs. ボライビー + リツキサン + 化学療法	SKYGLO	第Ⅲ相	NCT06047080
	再発または難治性のびまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫	RG6026 + ゲムシタビン + オキサリプラチン(GemOx)併用療法(単群)	—	国内第Ⅱ相	JRCT2051250036
	再発または難治性のマントル細胞リンパ腫	RG6026(単群)			
RG6330 (divarasib)	非小細胞肺がん[二次治療]	RG6330 vs. sotorasib or adagrasib	Krascendo 1	第Ⅲ相	NCT06497556
	非小細胞肺がん[一次治療]	RG6330 + ペムブロリズマブ vs ペムブロリズマブ + 化学療法	Krascendo 2	第Ⅲ相	NCT06793215
RG6114 (inavolisib)	PIK3CA 遺伝子変異陽性・HER2 陽性乳がん [一次治療]	RG6114 + フェスゴ vs プラセボ + フェスゴ	INAVO122	第Ⅲ相	NCT05894239
	PIK3CA 遺伝子変異陽性乳がん(内分泌療法感受性)[一次治療]	RG6114 + CDK4/6 阻害剤 + レトロゾール vs プラセボ + CDK4/6 阻害剤 + レトロゾール	INAVO123	第Ⅲ相	NCT06790693
	PIK3CA 遺伝子変異陽性乳がん(内分泌療法抵抗性)	RG6114 + パルボシクリブ + フルベストラント(単群)	—	国内第Ⅰ/Ⅱ相	JRCT2031250161
免疫疾患領域					
RG7159 「ガザイバ」	ループス腎炎	標準治療±ガザイバ	—	国内第Ⅲ相	JRCT2011210059
	腎症を伴わない全身性エリテマトーデス	ガザイバ vs. プラセボ	—	国内第Ⅲ相	JRCT2071230031
RG6299(セーファキセルセンナトリウム)	IgA 腎症	RG6299 vs. プラセボ	IMAGINATION	第Ⅲ相	NCT05797610
RG6631 (afimkibart)	潰瘍性大腸炎	RG6631 vs. プラセボ	Ametrine-1	第Ⅲ相	NCT06589986
	クローン病	RG6631 vs. プラセボ	SIBERITE-1	第Ⅲ相	NCT06819878
神経疾患領域					

プロジェクト	予定適応症	試験デザイン	試験名	ステージ	臨床試験情報
SA237/RG6168 「エンスプリング」	ミエリンオリゴデンドロサイト糖タンパク質抗体関連疾患	エンスプリング vs. プラセボ	METEOROID	第Ⅲ相	NCT05271409
	自己免疫介在性脳炎	エンスプリング vs. プラセボ	CIELO	第Ⅲ相	NCT05503264
RG6356 「エレビジス」	デュシェンヌ型筋ジストロフィー(歩行不能)	エレビジス vs. プラセボ	ENVISION	第Ⅲ相	NCT05881408
RG6102 (trontinemab)	アルツハイマー病	RG6102 vs. プラセボ	TRONTIER 1 / TRONTIER 2	第Ⅲ相	NCT07169578 NCT07170150
血液疾患領域					
SKY59/RG6107 「ピアスカイ」	非典型溶血性尿毒症症候群	ピアスカイ(単群)	COMMUTE-a	第Ⅲ相	NCT04861259
		ピアスカイ(単群)	COMMUTE-p	第Ⅲ相	NCT04958265
ACE910/RG6013 「ヘムライブラ」	Ⅲ型フォン・ヴィレブランド病	ヘムライブラ vs. オンデマンド療法(標準治療)	WILL-EMI	第Ⅲ相	NCT06998524
NXT007/RG6512 (zemocimig)	血友病 A	zemocimig vs. 血液凝固第Ⅷ因子製剤	ZEBRHA 1	第Ⅲ相	NCT07416526
		zemocimig vs. ヘムライブラ	ZEBRHA 2	第Ⅲ相	NCT07416604
眼科領域					
RG6179 (バミキバルト)	非感染性ぶどう膜炎に伴う黄斑浮腫	RG6179 vs. sham	Sandcat	第Ⅲ相	NCT05642325
RG7716 「パピースモ」	非増殖糖尿病網膜症	RG7716 vs. sham	AZUSA	国内第Ⅲ相	JRCT2071250009
その他の領域					
RG6615 (zilebesiran)	高血圧症	RG6615 vs. プラセボ	ZENITH	第Ⅲ相	NCT07181109
RG6640 (enicepatide)	肥満症	RG6640 vs. プラセボ	Enith1 / Enith2	第Ⅲ相	NCT07351045 NCT07351058

予定適応症に記載の治療ラインおよび対象セグメントは、現時点で実施中の臨床試験に基づくものであり、最終的な添付文書上の表現を示すものではありません。

【自社創製品の臨床試験】 ※開発パイプラインのうち、主要な臨床試験に記載の試験は除く。中外またはロシュ主導の臨床試験のみ記載

プロジェクト	予定適応症	ステージ	被験者数* (2026 年 6 月 30 日時点)	開発開始時期	臨床試験情報
がん領域					
GC33	肝細胞がん	第 I 相	27 名	2008 年 11 月	NCT00746317
		第 I 相	42 名	2009 年 10 月	NCT00976170
		国内第 I 相	18 名	2010 年 10 月	jRCT2080221218
		第 II 相	185 名	2012 年 5 月	NCT01507168
		第 I 相	27 名	2016 年 8 月	jRCT2080223270
ALPS12 (clesitamig)	固形がん	第 I 相	122 名	2025 年 10 月	NCT07107490
ROSE12	固形がん	第 I a/ I b 相	219 名	2023 年 6 月	NCT05907980
MINT91	固形がん	第 I 相	122 名	2025 年 4 月	jRCT2031240713
AUBE00	固形がん	第 I 相	130 名	2025 年 6 月	jRCT2031250094
免疫疾患領域					
DONQ52	セリアック病	第 II 相	92 名	2026 年 4 月	NCT07239336
RAY121	自己免疫疾患	第 I b 相	144 名	2024 年 8 月	NCT06723106
その他の領域					
REVN24	心臓手術後合併症	国内第 I 相(健康成人のみ)	210 名	2023 年 10 月	jRCT2071230074
RAY121	-	第 I 相(健康成人のみ)	36 名	2025 年 3 月	2024-515151-38-00
GYM329/RG6237 (emugrobart)	肥満症	第 II 相	285 名	2025 年 5 月	NCT06965413

*被験者数は公開情報に基づいて掲載しており、原則、予定もしくは実績を示しています

FoundationOne CDx がんゲノムプロファイル: コンパニオン診断機能の状況 (2026 年 6 月 30 日現在)

遺伝子変異等	がん種	関連する医薬品
活性型 <i>EGFR</i> 遺伝子変異	非小細胞肺癌	アファチニブマレイン酸塩、エルロチニブ塩酸塩、ゲフィチニブ、オシメルチニブメシル酸塩、ダコミチニブ水和物†
<i>EGFR</i> エクソン 20 T790M 変異		オシメルチニブメシル酸塩

ALK 融合遺伝子		アレクチニブ塩酸塩、クリゾチニブ、セリチニブ、ブリグチニブ、 <u>ロルラチニブ</u>
ROS1 融合遺伝子		エヌトレクチニブ
MET 遺伝子エクソン 14 スキッピング変異		カプマチニブ塩酸塩水和物
BRAF V600E 及び V600K 変異	悪性黒色腫	ダブラフェニブメシル酸塩、トラメチニブ ジメチルスルホキシド付加物、ベムラフェニブ、エンコラフェニブ、ビニメチニブ
<u>BRAF V600 変異及び BRAF 融合遺伝子</u>	神経膠腫	<u>トボラフェニブ</u>
ERBB2 コピー数異常 (HER2 遺伝子増幅陽性)	乳癌	トラスツズマブ(遺伝子組換え)
AKT1 遺伝子変異		カビバセルチブ
PIK3CA 遺伝子変異		
PTEN 遺伝子変異		
KRAS/NRAS 野生型	結腸・直腸癌	セツキシマブ(遺伝子組換え)、パニツムマブ(遺伝子組換え)
高頻度マイクロサテライト不安定性		ニボルマブ(遺伝子組換え)
高頻度マイクロサテライト不安定性	固形癌	ベムプロリズマブ(遺伝子組換え)
腫瘍遺伝子変異量高スコア		ベムプロリズマブ(遺伝子組換え)
NTRK1/2/3 融合遺伝子		エヌトレクチニブ、ラロトレクチニブ硫酸塩、レボトレクチニブ
RET 融合遺伝子		セルペルカチニブ
ALK 融合遺伝子		アレクチニブ塩酸塩
BRCA1/2 遺伝子変異	卵巣癌	オラパリブ
BRCA1/2 遺伝子変異	前立腺癌	オラパリブ、タラゾパリブトシル酸塩†
FGFR2 融合遺伝子	胆道癌	ベミガチニブ

下線: 現在申請中または承認関連手続き中のコンパニオン診断機能および対応薬剤

†: 削除に向けた手続き中の対応薬剤

FoundationOne Liquid CDx がんゲノムプロファイル: コンパニオン診断機能の状況 (2026 年 6 月 30 日現在)

遺伝子変異等	がん種	関連する医薬品
活性型 <i>EGFR</i> 遺伝子変異	非小細胞肺癌	アファチニブマレイン酸塩、エルロチニブ塩酸塩、ゲフィチニブ、オシメルチニブメシル酸塩
<i>EGFR</i> エクソン 20 T790M 変異		オシメルチニブメシル酸塩
<i>ALK</i> 融合遺伝子		アレクチニブ塩酸塩、クリゾチニブ、セリチニブ
<i>ROS1</i> 融合遺伝子		エヌトレクチニブ
<i>MET</i> 遺伝子エクソン 14 スキッピング変異		カプマチニブ塩酸塩水和物
<i>NTRK1/2/3</i> 融合遺伝子	固形癌	エヌトレクチニブ
<i>BRCA1/2</i> 遺伝子変異	前立腺癌	オラパリブ